

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	商店街（常務理事）	来客数の動き	・人気キャラクターショップが商店街にオープンしたこと で、来客数は増加した。街に活気やにぎわいはみられるが、 観光や土産物目当ての客が多く、売上が増加している店は限 られている。通行量が増加し、一部飲食店の売上増加につな がっている。
	○	一般小売店〔文具店〕（経営者）	来客数の動き	・以前と比べて、受注量と販売量が増加している。
	○	スーパー（企画担当）	単価の動き	・引き続き単価の上昇が売上増加につながっている。来客数 は前年比較で減少しているが、単価上昇分で売上増加につな がっている。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・秋になり四国遍路に関連した仕事が増えている。タクシー の稼働台数が少ないせいか、多くの客を乗せることができ いる。芸術祭の影響も大きいとみられる。
	□	商店街（代表者）	それ以外	・地政学的な混乱は続くが、我が国の経済は強気相場が続 いている。株高による可処分所得の増加が続く限り、消費経済 はある程度平等に地方経済を潤す。現政権の経済成長優先の 政策によって30年ぶりに先行きは明るいとみられる。
	□	商店街（代表者）	単価の動き	・価格の上昇が進んでおり、消費は低下傾向にあるとみられ る。値上げと経費の削減で何とか頑張っているが厳しい状況 が続いている。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・商品選びに時間を掛ける客が多い。少しでも安い物を探し て購入する人と、気に入ったものがあれば予算より少し高く ても購入する人に分かれるようになってきた。どちらにしても 慎重に買物をしているとみられる。
	□	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭での売上は例年並みである。外商による売上も波はある が結果的に例年並みである。
	□	スーパー（店長）	単価の動き	・商品単価の上昇と買上点数の減少傾向が続いているが、客 単価には変化がみられない。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・物価上昇による節約志向は依然として続いている。
	□	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・夏以降、来客数が前年比で減少している。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・本部による売上増加施策と商品価格の上昇により、売上は 増加しているが、来客数は減少している。余分な物を買わない 状況である。
	□	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・米価や食材価格の高騰が止まらず、野菜や卵などの価格に ついても先行きに不透明感がある。
	□	コンビニ（総務）	販売量の動き	・売上は前年比較で増加している。
	□	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・月の後半にかけて、売上が減少している。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が大幅に減少している。物価高で衣料品までお金が 回らなくなってしまっており、購入せずにあるもので済ましている人 が多いとみられる。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・今月の売上は前年並みで推移しているが、来客数が減少し ている。仕入れ単価の上昇傾向が続いているが、業況は厳しく なるとみられる。
	□	家電量販店（副店長）	お客様の様子	・O Sのサポート終了に伴う買換え需要が続いているが、売上 高は前年比140%で推移している。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・販売停止車種が多く、販売に苦戦している。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・客の購買意欲に大きな変化はない。

	□	その他小売 [ショッピング センター] (館 長)	来客数の動き	・来客数は好調を維持している。近隣のイベントによる集客も前年を上回っている。
	□	観光型旅館 (経 営者)	来客数の動き	・観光業にとって11月は繁忙期であり、現在大きな行動規制要因がないため人が動いているとみられる。
	□	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・良くなった実感がない。
	□	観光遊園地 (主 幹)	来客数の動き	・前年同期比の来客数で目立った変化がない。
	□	競艇場 (マネー ジャー)	来客数の動き	・来客数、客層に大きな変化はなく、景気の動向は変わらない。
	□	美容室 (経営 者)	お客様の様子	・大きな変化はない。
	□	設計事務所 (所 長)	単価の動き	・建築資材の価格動向にはばらつきはあるが、住宅機器の価格が上昇しており全体としては高止まりである。
	▲	商店街 (代表 者)	来客数の動き	・週末は、観光客やインバウンドが多い。平日夕方は地元の客数が減少している。
	▲	一般小売店 [酒] (経営 者)	販売量の動き	・物価高が家計に影響しており、家庭用の配達や飲食店への配送も減少している。
	▲	百貨店 (マネー ジャー)	販売量の動き	・芸術祭の効果は多少あったが、客の消費意欲は減少傾向である。
	▲	スーパー (店 長)	販売量の動き	・食料品を中心とした相次ぐ商品値上げにより、販売点数が減少している。消費者が節約志向を強めている。
	▲	スーパー (統括 担当)	販売量の動き	・買上点数は減っているが値上げの影響により売上は増加していたが、最近では売上も減少傾向にある。
	▲	コンビニ (店 長)	来客数の動き	・来客数は減少しているが、客単価は上昇している。
	▲	家電量販店 (店 員)	販売量の動き	・季節商材の動きも鈍く、パソコン買換えの特需も一段落した。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・昼夜を問わず平日の利用は低調であるが、週末の夜は利用者が多い。海外からのクルーズ船寄港数は増加しているが、タクシーを利用する客は一部である。
	▲	通信会社 (営業 部長)	来客数の動き	・前月比で1割程度、来客数は減少している。
	×	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・来客数が一番落ち込んでいるとみられる。客単価は物価上昇の影響により上がっており、結果として売上はほぼ横ばいである。
	×	美容室 (経営 者)	来客数の動き	・11月の業績は低調である。インフルエンザ等感染症の流行により、客の来店頻度が低下しているとみられる。
	◎	*	*	*
	○	繊維工業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・主力商品の一部で値上げを予定しており、値上げ前の駆け込み受注が多く、当社の売上は順調である。ただ、小売店からの情報では食品、その他物価高騰により消費者の財布のひもが固く、全体的に商況は前年並みのところが多い。
	○	電気機械器具製 造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・大手によるバイオマスコーキス事業に関連した受注があり、売上は増加している。
	○	輸送業 (経営 者)	取引先の様子	・我が国と中国の関係について、国民がそれほど気にしておらず、景気は良くなるとみられる。
	□	木材木製品製造 業 (営業部長)	受注量や販売量 の動き	・受注量は安定している。住宅着工件数が落ち込む予想が出ていたため今後の推移に注目して対応を検討する。
	□	鉄鋼業 (総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・受注、生産量に大きな変動はみられない。
企業 動向 関連 (四国)	□	建設業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・物価の上昇と人材不足を注視している。
	□	通信会社 (総務 担当)	それ以外	・社内イベントやボランティア活動の参加人数に大幅な変化はみられない。
	□	通信業 (企画・ 売上管理)	受注量や販売量 の動き	・売上が閑散期並みに減少しており、売上は減少傾向である。

雇用 関連 (四国)	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の状況に、大きな変化はない。
	▲	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・10月の動きが良かったため、反動があったとみられる。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・民間工事、公共工事共に発注が減っている。
	▲	不動産業（経営者）	取引先の様子	・郊外の安い土地を求める客が増えている。建築単価が上昇しており、不動産売買の動向が良くない。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・人件費高騰や物価高騰に対して利益が伸び悩んでいる顧問先が多い。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	周辺企業の様子	・人材不足、人件費等の高騰による経費圧迫の状況は変わらない。
	□	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・採用募集に対して全体的に慢性的な人手不足感は続いているが成約は進んでおり、各社とも少しずつ採用を進めることができている。
	□	職業安定所（求人開発）	求人件数の動き	・新規求人件数は前年同月比で僅かに減少となり、景気に影響するような新たな情報などはない。しかし、建設業ではやや増加し、一部の製造業では順調な様子もみられ、宿泊業においてインバウンドの好調に合わせた労働者の確保の動きがみられた。しかし、自動車関連の製造用機械製造業からは業務量の低下から雇用調整助成金の申請もあった。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・求職者数が少なく、成約に苦戦している。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・地方の景気は公共事業頼みである。
	×	—	—	—